令和2年度 第2回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

動的データ整備(遅延情報含む検索)に関する実証実験の進捗

令和3年1月12日

1. 実施概要

◆主に空港を発着する観光客の利用が多い路線バス(観光系路線バス、5事業者、計46台)において、OTTOPを活用し、実証実験後の継続を見据えた、動的データ整備(リアルタイムの運行情報提供)に関する実証実験を実施する。

【対象とする観光系路線バスの概況】

| 会社名 | 路線•便数(通常時) | 今回対象とする 車両の台数 |
|--------------|-------------------------|------------------|
| 沖縄エアポートシャトル | 那覇空港~恩納~美ら海水族館(往復22便) | 14 |
| やんばる急行 | 那覇空港~運天港(往復26便) | 3 |
| カリー観光 | 那覇空港~パルコシティ~北谷(往復16便) | 7 |
| | 那覇空港~北谷~美ら海(往復2便) | |
| | おもろまち駅~パルコシティ(往復16便) | |
| | 那覇空港~イーアス豊崎 | |
| 沖縄バス(空港リムジン) | 那覇空港~各リゾートホテル8路線(往復50便) | 13 |
| 東京バス | 糸満市役所~空港経由~沖縄県庁(往復13便) | 9 |
| | 那覇空港~瀬長島~イーアス豊崎(往復37便) | |
| | 計 | 46 |

【取組イメージ】



──車載装置 (GPS取得機器)



バスの位置情報・ 動態データを取得







2. 具体的な手法

- ◆バス車内に車載機器として、GPS取得機器、入力用のタブレット等を設置
- ◆ドライバーは出発前にタブレット画面にて、出発便(路線、時刻)の指定を行う
- ◆GPS取得機器から取得したバスの位置情報データを、OTTOP(Okinawa Transit Tourism OpenData Platform)において、GTFS-RT形式でオープンデータとして提供を行う
- ◆Googleについては、OTTOPを運営する一般社団法人沖縄オープンラボラトリよりGTFS-RTのフィードを行う

【車内に設置する主な機器について】

・車載コンピュータ



・乗務員用モニター (大きさ:7インチ)

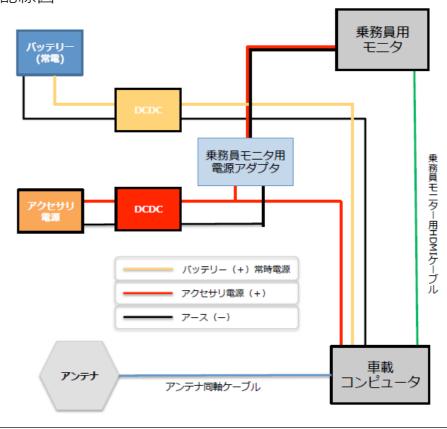


・アンテナ



·DC-DC降圧電源 (24V-12V)

・配線図



3. 現時点の進捗と今後のスケジュール

- ◆現時点では、車載機器の設置が概ね完了
 - ⇒沖縄エアポートシャトル、カリー観光、東京バスは、機器の設置が完了
 - ⇒沖縄バスは、13台中12台が設置完了
 - ⇒やんばる急行は、自社でリアルタイム情報の整備を進めている。機器が揃い次第、整備を進める
- ◆システム側については、仮想ルートでテスト中
 - ⇒順次、実際の運行情報等でのテストを開始予定
 - ⇒あわせて、事業者(ドライバー)のタブレットでの入力に関する協議・調整を実施
- ◆年度内のOTTOPでのオープンデータの公開、GoogleMapsへのフィード(公開)に向け取り組む
- ◆GoogleMapsでの公開後、3ヶ月程度は実証期間を継続する(4月以降も当面は実証として実施)

